

報告



節分



ふれあいの発進



部門長あいさつ



事務部門長 田村 政子

なんぐん館が開設されて、早くも五年目を迎えました。私は、その少し前より関わらせていただいていたので六年近くになります。経理の経験がありましたので、事務の仕事と軽く考えていました。ところが、この仕事に携わっていくうちに大変な仕事だと気持ちを引き締めました。老人医療、福祉など、今までの経験にない分野なので、わからないことが多く、本を読んだり、各施設の先輩方に尋ねたりして、試行錯誤だったように思います。今では懐かしい思い出です。

事務職は、人事・総務・経理などのほか、各事業所、各部門の連携がスムーズに行えるようにサポートし、また、利用者やその家族の皆様に喜んで施設を利用していただけるように、縁の下でお手伝いしていくことだと思います。その為には、積極的に研修、勉強に取り組む必要を感じています。

「継続は力なり」私の好きな言葉です。若い人達と一緒に仕事をさせていただけれることに感謝し、体力、気力、頭の働きが続く限り前向きに仕事に取り組みたいと思います。

地域の方々に「なんぐん館」を利用してよかったと喜んでいただくのが、私たち職員が一番嬉しいことです。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



今年もきれいに咲いたよ！
十年後の500本の桜が楽しみ。
お花見しよーね！



初めて、月行事を担当して、一時間という少ない時間で、いかに入所者の方に満足して頂くかを考えるのは大変なことでした。企画をいざ実行に移そうという段階で、予定外の変更が多く、また慣れていないこともあってゲームが思ったように盛り上がり苦勞しました。日頃、御家族と離れて暮らす入所者の方が、ボランティアの中学生からもらった鬼の面を嬉しそうにかぶったり、手を握りながら笑顔で話をされている姿が見られました。次回への課題は沢山残りましたが、月行事の大切さを改めて痛感し、良い経験になりました。

(記 中川 公子)